【東京國通】皇軍の武威に今や全く治安川復して悪夢から 党めた市民の親日空氣が頓に 引まりつムある廣東から不眠 不休の戦後措置に活動してゐ た岡崎勝男總領事が現地報告 を行つた後左の如く語る から舊市內中華北口の、 廣東省教育廳跡に移轉したが 展東省教育廳跡に移轉して と行った後左の如く語る から書市内中華北口の、 高東省教育廳跡に移轉して

電に照し遂に関 ることよなり出 ることよなり出

文 天 学 校 出 館 国 北てるた吟爾濱英文 中であったもので、最近に至 たものである、然して本問題 の教育、行政の根本 徳上命令書通達の順序となっ 大英中學校の二校 り英國側官憲との間に興痛な の教育、行政の根本 徳上命令書通達の順序となっ は当を招致して閉鎖 なす英國人に對し鴻洲國政府 は者を招致して閉鎖 なす英國人に對し鴻洲國政府 は者を招致して閉鎖 の正式認可を受くべきことを の世界の訓令に基き右、分と異り營利的に學校經營を は道としたが、本問題 の正式認可を受くべきことを の本等が高出先官 要求し同時に二校が純然たる の本等のみの教育を目的と のたまののよの教育を目的と のたまのより、一大子弟のみの教育を目的と のたまのより、一大子弟のみの教育を目的と のより、一大子弟のみの教育を目的と のたまのより、一大子弟のみの教育を目的と のより、一大子弟のみの教育を目的と のより、一大子弟のみの教育を目的と のより、一大子弟のみの教育を目的と のまた。 のより、一大子弟のみの教育を目的と のまた。 のより、一大子弟のみの教育を目的と のまた。 のな、 のまた。 のなまた。 のまた。 のまた。 のまた。 のなまた。 のまた。 のまた。 のまた。 のなまた。 のまた。 のまた。

在學生徒の大部分を占む

在學滿系、

洗相手としては後來より在い

命令書を通達

を夫々所定の學校に收容せしたる外學校々舎、備品の審却し教職員の轉職その他にも特別の考慮を拂つて居り、これ等滿洲國政府の薦向は既に英國官憲並に學校富局者の認むるところであるから問題はス

の計畫は机上の家論ではなくがその獨逸が歐重連絡を評さ

那側

兵站線統

不能に陥

第五路軍總司令白崇藤、軍事 委員會翻委員長馮玉藤、湖南 省主席張治中、廣四省主席、 利等軍政の諸要人出席し 一、中央軍の廣東入りに伴ふ 所軍政陣客の建直しによる高級 人事の變更 三、廣西及び雲南を通する佛 の混本策 の混本策

視察團來京

沿岸討伐の海軍部隊は廿五

日江

親日空氣昂

まり

領事現地報

大阪懇談 第二日

會

中學校及び大

針は政府

10

に復舊

11

共にその抱負を語つ

て敵據點部落を 河源、陸豐

英國側官憲と

かけ治安維持會の成立を告ぐ のJ・Dから支援民衆に呼び がけ治安維持會長計國祖氏は廿六日午

海軍部隊成果

開題の英國船マ

ンからの情報によれへイ壮六日發國通

七日までに荷揚完了の

はれる ランダーンに支那商社の支店 に が開設されたが更に對支武器 アルマ諸港に定期的に多數汽船 屋 が寄港することになつたと云

**南岸部落を撤蕩、引續き午後** リークの掃海隊と協力しつよ

二時半より蓮花岡砲臺附近の

【漢日廿六日愛國通』大別山 茶の麻城地區において最近敗 散が羅動するのでわが軍では 十四日これが掃蕩戦を敢行し

成立大會を學

六日發國通

午前八時○○を出發、東

掃蕩戰敢行

武漢治維會長 計國楨氏放送

破炎上せしめたり、また交往家口の軍需品食庫七棟を

替統中在津出め他支省又金

雲南經·

を撃破し大打撃を與へたほ

道部廿七日午後四時發國通

十五キロ附近において共産軍た他の部隊は同日夏店の西南た他の部隊は同日夏店の西南

は原東市七日鑁國通」南支派遣軍報道部發表 = わが東江海 ・ おりまし、その砲兵は契制手です…… ・ は原東市七日鑁國通」南支派遣軍報道部發表 = わが東江海

へ、廿六日正午英國租借地深州圩を距る約三キロ附及撃を反覆、包圍圏を縮小しつよ廿五日黄田、天堂紀江南岸地區掃蕩部隊は東莞、石智 見り

・中附近内外の敵は深洲圩南側地區より英國天堂園、陳擴の線に對するや敵の一部及び

るや敵の一部及び

関々

英國租借地境なる

て全く競砲することなく

1場を攻撃

銘酒

南支方面に活躍

肉薄につぐ肉薄をもつて同日午

後四時半遂に租借地境に進出深洲圩東南方國境線に於いて

# 自

軍發砲するこ

44 【頁二十刊夕朝紙本】

之 第三二 五五五 介勇忠 〇五社 鐵鐵鐵圖

等等等官被服 手车訓練服 上洋服 上洋服店

佛租界内各所で

部に

五色旗破

棄さる

第二十二回

もかムはらず 判明佛租界當 か、廿六日朝に至り建て武漢政權の首途を記 県を會旗と制定、 一つ設國通」武漢治 子員た散佛説れ

嚴寒を衝いて は厳寒の河北山西到る所の 以天側による全価的掃匪作 日家莊廿七日愛國通』わが 掃匪戦進む

不穏分子の存在は武漢の明朗 れが粛清方につき佛和界當局 らに厳重なる申出で

每月廿八日

秋文丸で歸来する豫定である。 秋文丸で歸来する豫定である。 秋文丸で歸来する豫定である。 秋文丸で歸来する豫定である。 秋文丸で歸来する豫定である。 秋文丸で歸来する豫定である。 織田信恒子來滿

ます今すぐに御下命下さい

八日は白蘭の謝恩奉仕デーで御座い

酒のうまい季節こなり

ました、

態度を以て臨み學校閉鎖の場別鎖問題に關し極めて好意的政府は在哈英人經營二中學校

を約す

閉鎖後の善處

往來

瓶

配達料

一本每

五

話③一七〇七

大經路八三ノ 九行

大經

路市

塲

塲 九洋三 四行

朝日通市

3 三 二 六 店

3 三四 0

を得ない▼によりである航空路開設と見ることは出来ない▼こには國を擧げての國家的基礎準備が選められての家的基礎準備が選められての最近に数年前から極秀技術員をとは出来ない▼バミル高原派とは出来ない▼バミル高原派を世界の水準に登近しの最近であったことは異に會社の事業としたことは異に會社の事業としたことは異に會社の事業としたことは異に合社の事業としたことは異などうかである。

軍政陣空建直し を同件、飛行機の対象の通りを対象を

弛緩による民心 地線による民心

西及び費州入りと四川軍將領れる、なほ中央軍大部隊の廣

| 大人同伴である[編唯一人のミール | 大人同伴である[編唯一人のミール | 大人同伴である[編集 | 人のミール | 大人のミール | 大人同伴である[編集 | 大人のミール | 大人同伴である[集集 | 大人の | 大

敵

0

チ

力

を爆破

(漢口)

の反目に起因して招來の監視下にある蔣介石

は、國

衡陽軍事會議の結

を 議には湖南省主席張 のため廿四日衡陽に選 のため廿四日衡陽に選 が確實なる消息によ

長沙事件の責任、関係徴及びより周恩來が代表と

なにおける兵站線の場所が開間の軋轢及び述

1の情報によい 1の情報によい

所

日本旅館協會招聘で來朝、內地各地ホテル協會與察團一行十全年本テル協會與察團一行十七日で朝鮮經由來滿、二十七日上で朝鮮經由來滿、二十七日十分新京驟着あじた。米

吉野町 吉野町銀座新道角

爭覇戰を

島

本ッケー最後の優勝殿は豫想 してゐた通り第二回職で大連 二中を六對一で破つた、内地 に永く無敵の傳統をほこつて るる苫小牧工業と雌雄を決す

インドアトリンクでの試合を やる選手のコンデションを心 配しましたが割合に變りなく 此の日は選手の放勢も回復し てゐましたし少々個人的プレ トをしたと云ふきらひはあり ましたが前日の苦小牧の試合

細尾リ

を作つて優勝し大會スピート 競技の最後を飾りました スピート競技に於ては新義州 商業一位新京商業二位、苫小

リンクを埋める観楽は選手達した、十四日朝八時初めてで決勝戦をやり直す事になりで決勝戦をやり直す事になりで決勝戦をやり直す事になり

・の佐藤など悠 ・の佐藤など悠 ・の佐藤など悠 ・の佐藤など悠 ・で見受けました ・大ルが京商の優 ・大ルが京商の優 ・大いが京商の優 ・大いがら書び ・大いがら書び ・大いがら書び ・大いがら書び ・大いがら書び ・大いがら書び

を として時々 として時々 として時々 として でが報いられ でが弱いている ながら見て居 ながられて に こる ながられて と ながられて と して は かんともなく 流

强豪京

商滑

氷

籤の結果最後に獨走しましたが本校は抽 スで行はれましたが本校は抽

血を湧かしながら初まりまし

持ち越す事になりましたひましたが終に勝負を翌日に

が此の試合は

選手は力强いボデーチェッ體の大い體力の强い苦小枚

第二日日はスピート五〇〇米 大川は四十七秒二で堂々大會 新記録を作つて優勝し、鳴潮 関村も亦よく新張つて第五位

本 キッケー部第二回戦は慶應賞 ビート五千米は先の一〇〇〇米 単を計戦しましたが技術に非 「スで行けれる事になりました とた内臓、渡瀬のドwがよく 位丘入賞し最後二〇〇〇米リーで問題なく勝ちました、ス 二千米リレーに於ては他の組一で問題なく勝ちました、ス 二千米リレーに於ては他の組一で問題なく勝ちました、ス 二千米リレーに於ては他の組一で問題なく勝ちました、ス 二千米リレーに於ては他の組

決定戦となりました。 大原等 ・ 大原等

東京選都七十 東京選都七十 東京関連 明治元年十一月 四

さ 社設立要綱深はこの程産業部 その他を附議したが會社の設 がらしめ且つ原料薬煙草の需 業部では廿五日中銀クラブに が高い取扱機関として栽培者 一、創立事務所設置の件 側と各製造業者との共同出資 一、役員の推應並に出資割當 に依る補洲薬煙草製造株式會 の件 一、創立事務所設置の件 一 の件 の件

労働者も廿八日

强硬態度をよ

葉煙草會社

立要領は次の如くで

付及び附帶事業を行ふもの付及び附帶事業を行ふもの貸出入、配給、耕作資金の貸票及び加工、輸票に対策を表示した。

の貨輸

一、下山當日は荷物もあるで あらうから苦力を傭ひ支那 側歩哨線まで出迎へさせる 一、連花洞からは自動車で九 江に運び更に上海への歸還 希望者に對しても特別の便 電を觸る

ある旨を答へ、更に

設立要綱案成る

では、本會社は政府の薬煙草増 大法を行ひ國内産務煙原料 方法を行ひ國内産務煙原料 産薬剛政策に伴ひ農事合作 産薬剛政策に伴ひ農事合作 産薬剛政策に伴ひ農事合作

は當社の獨占事業とす、捲煙原料葉煙草の輸出入

との友誼的援助を申出たので 英米側は厚く感謝の意を表し 下山時期は大體十二月五日か 下山時期は大體十二月五日か

満鐵林場權政 所に返還

一三時間餘に亘つて意見を交換 した、席上兩艦長は英米側登 型者は米國人在住者三十五名 四名、これにスイス人女一名 で記者は米國人では者三十五名 で記者は米國人では者三十五名 で記者は米國人では者三十五名 で記者は、英國人では者三十五名 で記者は、英國人では者三十五名 で記者は、英國人では者三十五名

れに對しわが方では何日にてを下山させ度いと述べた、こ

**| 捧皇の手續を執つた** | な直ちに宮内省に出頭、賀表は直ちに宮内省に出頭、賀表

四制就業を殿命

## よ けふ南京で開幕 **省**

總罷業益す擴大

六萬の女學生群を動員して慰 の寸志を届けやうと近く都下 の寸志を届けやうと近く都下

ソ聯政府はオ

家庭に呼かけた一戸一品献納の十月七日府市共同主催の各 陸軍千住製絨 と張切つてゐ こと」なる空

煮漬化 ルコー オルジョニキーゼ

い、なほ毛屑は 大れて遅く おける

大會も盛大に行はれることに

ざんの身を包む

レ暴動勃ිの兆あるに鑑る最野する一般 民衆の反感熾烈化 おける 反革命分子庸庸工作に ロ ジ ノ フ 変員會議長代理

#### 三國 TOD 懇談會

満鐵林場權は學げて政府に返還することになつたのでこれを機會に滿鐵では北滿林菜處を機會に滿鐵では北滿林菜處を膜止、同處業務の内配木關係と蔬菜課林產關係を統合一元化した强力な一課を新設、蔬菜課と併行附業局内に設置することになり目下着々準備中であるが、本年度中には林中であるが、本年度中には林

分科會(座長

大阪熟談會第一

|||||第

分科會開

般產業

維工業

**聯合大賣出** 

特定開始日

吳服、

浦粤

洋服商は

二月

一 H

J

uj

大工をり左翼の社會業、共産 大工社会業へ首プルーム氏は サ六日薫護廟紙ボビュレール 財總辭職物告狀を敬せ ダラデイエ首相が辞職しな ければ革命の危機に直面すること」ならう と述べてゐる

廬

人

我方、援助申出で

英米側好意に感謝

**蘆田の支那軍は中央** 

つてゐるので英米側では早速合がなくば下山させぬと頑張

満洲國林野行政の徹底に伴ひ 直接管理されて來たが、今回 直接管理されて來たが、今回

策に應じ銃後協調週間第三日 七萬八千圓 東京府市の成績 東京府市の成績

\*十二月一日限り後に日のべい。 経に日のべい。 経に日のでは、 経に大好評鑑定者殺倒 遂に

貴金屬的

月

般

正最人の悪魔である 特別二国 特別二国

●一白の人 迷いの淵に沈むよりも気を晴々と持つべしまりも気を晴々と持つべし甲と辛と艮か吉甲と中の人 後るとも躓かざるやうに靜々と進むが勝ち東を押と丁が吉中へに氣を揃へて噛むべし世へに氣を捕へて噛むべし世へに気を揃へて噛むべし 記念公會堂

êE.

學除 (#甲月 宿 滅子 曜

獨各紙論調 ン十六日發國通

いっ 防共協定の威力 防共協定の威力 11

共協定記念日

り交離晩餐會を聞いたかくて第一日を終り六時半よ

等 一國海に抽鉄補助券一枚宛媚呈致します。 てま日十三月二十りよ日一月二十間順出資 意源

食料雜貨商

二月二十

П

店 英通商品券とす ( ) とし等外は本會競行客加盟・ ( ) をは 本 東 前一本の 金額は 自一等 至六等は 満州 興業銀行競行 ( ) に 常級番號は一月十一日付本紙に淡表致します 參加店 新京商店同業組合聯合會加盟店 高 店 [17] 業 ¥.l 聯合 CHIN HINT

行

六本一 四九

壹千圓 二本 袖五十圓四本 四本 等 六五四等 外等 五 壹

不休の活動に猫の手も借

**憲會及び演藝會を擧行、各會** 一ヶ年、二十七日午後一時か 一ヶ年、二十七日午後一時か 一ヶ年、二十七日午後一時か 一ヶ年、二十七日午後一時か 一ヶ年、二十七日午後一時か

二階講堂と記

お客さんに先づ

映畵説明、浪曲からエ

隠し藝が歌謠曲、

の小母さん 時もお世話

で興へ且つ消防陣を惱入の虚報が如何に入心

電々四選士優勝

三位決定戦 (最勝戦

渡邊(電々)メル

佐藤(新商) 山口(滿炭)

小松(工物)コ 矢部(工物) 湿藤(電々)メ 茅根(電々)

(段の部) 「小口(弘道)

梁瀬部隊で自

岩井(建大)

を募集して

有段者別劍道大會

富濱(日滿)

(三)

と火災通報である、直ちに出つた『只今樂土街が火事だ』

では最近虚報を判つた、同等では最近虚報を判つた、同等では最近虚報事件複数に惱まされてゐるにがい經驗に鑑め、直ちに電話局及び警察の應接を表の、直接では最近虚報を判つた、同

思話がけたゝましく鳴||の署(元長春大街消防日午前九時四十五分頃|

その手喰はぬ

何時も

れが防止のため市民

る温州蜜柑の本年度作柄は全日本内地の重要對滿輸出品た

昨年より三割方の減收を示約八千四百萬梱、廿五萬碗般的に悪くその渙想收穫島

腹の排底により需給

量も更に減少を餘儀なく經由入荷不能等からこの

而不能等からこの豫定

萬七千四百越となつてゐる、

今次事變に因る船は益々拍車をかけ

河産秋梨の

病虫の被害を蒙つたゝめでこめの長期のため腐敗し重ねて

五乃至十割の産地高である、の品薄のため價格は昨年對比

**|四千梱、一萬七千** |大連經由總輸入量

和台大連支所

火災虛報常習犯逮捕

雕 月)

てをり、目下のもとに全滿

に至つては協和會分會機能を ・がつちり結びつき最末端組織と がつちり結びつき最末端組織と

重視し町内會が市の指令を受動によって全ての事務を處理 すべきを理想案とし將來は分 會と町内會を完全一體にすべ

ではしばく 警告を殺し市民の注意喚起しつ、あつまた、然の注意喚起しつ、あつた、然のに向からした思徳漢の輩出は断じて許し難いものであり、

で目指し首都本部と

中の協和義勇奉公職、

指令統

を圖

育都警察廳に於ては國都消防 が機構改革を斷行一元化を圖 が機構改革を斷行一元化を圖 ることゝなつた、即ち從來國 都の消防機構は長春大街及び 都の消防機構は長春大街及び での署に於て周劃を受持ち

は廃止して同應舎を説明分駐所に改め、永安街分駐所はそ でまゝにした一署二分駐所はそ するものである、これによつ て今後の関都消防陣は新京消 助することゝなるのである。 協各署の改名に基く新しい看

完全表裡一體化を目指して

市街地八區長會議



### 協和會 市兩組織の 一杯となり、水すましのや小スケータでリンクは忽ちかスケータでリンクは忽ち終つて二時半から一般に閉

によつて

署二分駐

新京消防署、祝町は分駐所

#### 處女氷盤に鮮かな妙技の華 見玉公園の賑 開

開きに相應しい大脈ひを早 より切つた氷盤が少しゆる より切つた氷盤が少しゆる より切った氷盤が少しゆる はり切った氷盤が少しゆる

窃盗常習捕る

特は正に眠から覺めて日曜日 場所柄一時は大騒ぎであつた 場所柄一時は大騒ぎであつた 場所杯一時は大騒ぎであつた 場上り強火、約十五分間にし 場より強火、約十五分間にし 場は本月十一日にも出火して、 場は本月十一日にも出火して、

みで目下臓の れと判明、 A

元帥林に

スキー場

吉林鐵道局 では率吉線

が詳細は同縁に照會方、募兵條件は左の如く

子供の教育に



現丸々と肥つた男兒三人を分好れるといった男兄三人を分女非滅鐵髂院産科に入院中の

安東に三つ子

上生菓子



だものとみられる。には猛烈な吹雪あり、

通」二十六日正午仙臺を出資 青森に向つた日本空輸會社東 京=札幌間旅客機は同日午後 一時四十分質青森縣八甲田山 頂臺溫泉の上空を通過したま 利息を絶ち捜査中、廿七日 一時四十分質青森縣八甲田山 が愛見された、廿六日同地方 が愛見された、廿六日同地方

旅客機遭

日 滿實業協會理事高橋康順氏は途中京城及び撫順に立寄りは途中京城及び撫順に立寄りけて日々あじあれで韓京したが、北の同會理事高橋康順氏は途中京城及び撫順に立寄りまた。

明年は五月に新京で開催する運びとなつた る運びとなつた と前提して驛頭左の如く語つ 

滿日編輯局長

ち同地で發行する滿洲日日新 ち同地で發行する滿洲日日新 ち同地で發行する滿洲日日新 以上とで赴任、來月早々來京、 はとで赴任、來月早々來京、 は上十七日八千代館で送別會 は二十七日八千代館で送別會

自電用

劉參 事官等認國

.

自動車運轉手電話交換手取は

.

當課入事係に出頭相成度 (窓眞添辞) 持参の上本月末日海希望者は自筆履懸書 (窓眞添辞) 持参の上本月末日海一、 勤務場所 牡丹江、岡門 滿洲中央銀行庶務課

依る債權申出催告



き照明の中に自由に競技出來背白の電燈で場内を白晝の如り開放、夜は五百燭光六つのり開放、夜は五百燭光六つの 星りでる 猫火したが、原因は隣家赤穂田久治方二階裏側より酸火、 の一段の協力を要望されてゐ 朝火事二件 國都消防陣を改 - 時二十五分頃級座新 ス向ひ割烹武藏事内 騒ぎ二件―廿七

馬路々上を徘徊する擧動不審二十七日午後一時頃市内西三

(年齢) 滿十七歳より滿二十三歳まで(學力) 尋常小學校卒業程度、滿人は日本語を解するもの(出願場所)奉天東大營崇瀾部除(締団を)十二月十五日限(試験場所)。 十二月十五日限(試験場所)。 サーン、十八の兩日



中村氏赴任

高高

新州國政府との間に通商代表 部間五度 が受診劉參事官、 共成は十七日午後一時四十分變 あじあで多数關係者の見送り をうけ南下、大連經由屬國の 途についた 大同報廣告部長木下九州男氏はかねて病氣療養中の處、薬イ分死去、葬儀は二十八日午後四時曜町東本願寺で執行さ

なほ温州蜜

場相處期

800 3690 の好物で書 川上ビル

新京市場株式會社

眞

H

本業の慰問隊以上

自慢の隱し

時三十分より演奏會が娛樂 **して観覺する、やがて午後二** 白衣の勇士の作品等に皆感激

現はれてすつかり和かな雰囲す、支那手品、はては劇まで 氣に出演者の傷病兵もお客さ 選で答へたのだよ」と▼ナー ところが、老鼓直ちにゅ色は ところが、老鼓直ちにゅ色は るる どう

動車兵募集 一年半の間自動車と動車の經験の有無に

野谷(經濟)

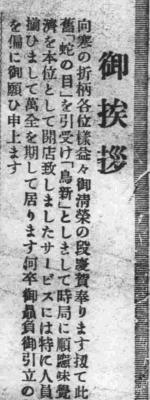
吉野町 1

話 3

六二三二番

引に慶扨 立人味で 程を經度

品料理、 おて ん 和 洋 食 和洋酒







三階增築 設備其他完備

(元日本橋アパート)

御用の方は





長就て

八百餘圓を計

であることを、長七郎は、直ぐに った。それが、根津五郎衛門の整

るた長七郎は、驚いて身を引いた。

らづまく 黄煙とが、 厳格子からなる

わたくし似にとざります

五

果せるかな。

警察ブラ

記び寄った人影である。 繁秋せず まつた(秘かに、足音も立てず

これは緩緩の音だった。 地軸も製

型語: 3五九五一型語: 3五九五一型 央 銀 行 御 用

それは緩慢の音だった。

デッと野波した。

に思られなかったのだ。

けるかと思はれる大意響だった。

穴食から脱れかけて

茶は青年團員全部を除員とし なつた「青年治安隊」の結成 なった「青年治安隊」の結成

トラック に依る 大和運輸公司 開選及建築土木科へ番 明選及建築土木科へ番

整區月

小原整骨院 第二六人国景 の原整骨院

Fン ( 御中込下さい 自盤會結婚媒介部

宋松接骨院 中央通數

友社

東三世路とは、大学の大学者、共に本會へ路頭に迷ぶ者、共に本會へ

隊の結成

浴せ猪皮蒐集に

奮戰を續け

に獲軍、猪軍陣地に猛攻撃を緊下のハンター連は毎日山野

(百八十七)

(就上)

邸 百

新古和洋 出物大安賣 出物大安賣

胧

電話3六八

下南洲常で 電3 五一回金八十銭 会 ◇ 十行一回金一間八十銭 一回金八十銭 一回金八十銭 一回金八十銭 一回金八十銭 一回金八十銭 一回金八十銭 一回金八十銭

岩。

殿。

膝。

三天天

. 7

京义

が第一条

豊かけ

友情

五郎衛門、その優しい思ひ道を

ませ。新が最後の翻案公。 身を捨

三省堂製本所

(二) 學校部第一位 (一) 學校部第一位

明新門にござります」といふ。

が、それに反して、繋外な五郎と、長七郎は、終ち不快を感じた をうにして、根本五郎衛門が情向 関手でシッカリ石波に難吸っく 関手でシッカリ石波に難吸っく が、もう厳格子は職く関つて居た

タイプ印書

際寫·代書 報譯·立案

傾何の致します。

低利で敏速に 白金·金·銀高價買入

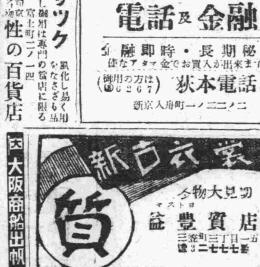
東京梅ケ枝町三/十 新京梅ケ枝町三/十 新京梅ケ枝町三/十 (事) お (事) を (事) ◇あんま特設







る元和戸 十十十二月月 会を (大阪行) (大阪行)





元二十二 紫雲社

辨慶整肯院 實際 五三六一番



へ、二〇氣豪通報 へ、二〇氣豪通報 へ、二〇氣豪通報 へ、三〇(東京)經濟市況 一〇、二五(奉天)料理獻立 一〇、四〇(東京)經濟市況 一、五九(東京)經濟市況 一、五九(東京)經濟市況 一、五九(東京)經濟市況 一、五九(東京)經濟市況 一、五九(東京)經濟市況 一、五九(東京)経濟市況 一、五九(東京)経濟市況 一、五九(東京)経濟市況 一、五九(東京)経濟市況 一、五九(東京)経濟市況 一、五九(東京)経濟市況 一、五九(東京)経濟市況 一、五九(東京)経濟市況 # 七、00 (大連) ・ 二五 (大連) 初等満洲語 ・ 二五 (大連) 初等満洲語 ・ 二五 (大連) 引等満洲語 一、管絃樂、歌劇「ファウー、管絃樂、歌劇「ファウ ローウエーバー作曲 アノと管絃樂のための 2 番組 八、三〇(東京)ラデオ時局 森本 八、四〇(東京)連續ラデオ ドラマ おるさとなる 崎縣の ・ 売井(書)渡邊、 十八 八 所 五 京 全 月曜日 出、 郷棋禁 にれは 物妻 Neさつづけて、其夜もやがて四別である、心地の長七郎、 ズツと苦悶に に続つて行く。 概をかきむしら た。 の間が真ツ暗に穴食を埋めて母 感謝を描はずに母られなかつた。 食は離かであつた。そして小窓の 心した。同間も では、一般の安否を包む の如き忠義に對し吹めて尊敬と、 のがは失せて、容鳥の安否を包む の如き忠義に對し吹めて尊敬と、 であった。 う審島の形態は断えて、隣りの穴 台島の悲鳴は、東第に力抜けて後

現つの境から、ハッと現實に、Ma に近づいた人の氣配であった。 その時長七郎は、疲労と心配と たのは、誰やら、織格子の外の境から、ハッと現實に、甦

成れる大管がして天地 が踏み出さうとした瞬間 機格子に近づいた長七郎が、 **お** 接保貸付 大連市西公園町一 屋給金庫 トラックの御用は

内地みや ロシャ菓子 電ニー七四七番 次第配達

お茶道具はお茶道具は

金でお買入が出来まて



**紫被细胞** 三空町三丁什七



十一月廿六日山 廿八日 (三日間)

新京フォト俱樂部

場 會

新京吉野町 銀パレス

乾寫宣 乾寫眞機店